

## 第5部 今後の展開

関係者との連携を深め、自然再生を着実に実現するため自然再生協議会を組織します。

### 1 石西礁湖自然再生協議会（仮称）の設置

石西礁湖の自然再生は、環境省だけでなく関係する行政機関、地域住民、地域で活動を行っている団体、サンゴ礁生態系に関し専門的知識を有する者が共通の認識の下に、互いの連携、協力を密にして行動することが必要です。このため、自然再生推進法に基づき、関係する各主体が参加する自然再生協議会（仮称。以下「協議会」という。）を組織します。

協議会は、自然再生事業を実施しようとする者、自然再生事業またはこれに関連する活動に参加しようとする者（地域住民、NPO等、自然環境に関し専門的知識を有する者、土地所有者等）、関係行政機関及び地方公共団体で構成することとし、実施者である環境省及び関係行政機関の呼びかけにより、協議会員を公募します。

協議会では、自然再生全体構想の作成、自然再生事業実施計画の案に関する協議、自然再生事業の実施に係る連絡調整を行います。自然再生全体構想では自然再生の対象となる区域、自然再生の目的、協議会参加者の役割分担等を定めます。自然再生事業実施計画では、事業の対象となる区域及びその内容、周辺地域の自然環境との関係、自然環境保全上の意義及び効果、事業の実施に関し必要な事項等を定めます。

### 2 各事業主体との連携

本マスタープランは、環境省が行った自然再生推進計画調査の結果をとりまとめ、今後環境省が行う自然再生事業が関係行政機関の施策と連携したものとなるよう、関係行政機関の協力を得てとりまとめたものです。今後も、関係行政機関の赤土等流出防止総合対策計画や農林水産業振興計画など各種計画、構成員により実施される自然再生事業の計画と連携するとともに、本マスタープランで不十分とされる事項についてはさらなる関係行政機関の参画を得て、総合的な自然再生を推進します。

協議会で作成する自然再生全体構想は本マスタープランを素案にしながら、関係行政機関の各種計画、構成員が実施する自然再生事業について連携して作成します。

自然再生事業実施計画は実施主体ごと作成されますが、協議会において案の協議を行い、各主体で協力して進める分野や、各主体では対応できない分野について議論を深め、協力して実施する事業、新たな事業の実現に向け検討を進めます。

### 3 実施施策の評価

石西礁湖の自然再生を着実に推進するため、実施する各施策について、その結果を評価することが必要です。このため、施策毎に可能な限り具体的な数値目標とそれを評価する手法及び指標を自然再生協議会において検討を行い、関係者が目標を共有しながら、協力して目標達成に努めていきます。

## 引用文献・参考文献

### 引用文献

#### 第 1 部

- 
- 藤原秀一(1994)サンゴ礁海域調査結果の解析. 第4回自然環境保全基礎調査 海域生物環境調査報告書(干潟、藻場、サンゴ礁調査). 環境庁自然保護局
- Fukada, T. and K. Okamoto (1976) Observation of the *Acanthaster planci* Population in the Yaeyama Islands, *Okinawa.Sesoko Mar.Asci.Lab. Tech.Rep*, 4:7-17
- 福田照雄・宮脇逸朗(1982)八重山群島石西礁湖海域におけるオニヒトデの異常発生について. 海中公園情報, 56:10-13
- 長谷川均(2002)陸域の開発とサンゴ礁浅海域の変化. 2001年度 WWFJ 自然保護助成事業報告書. 18-33
- 海中公園センター(2000)平成10年度造礁サンゴ群集の白化が海洋生態系に及ぼす影響とその保全に関する緊急調査報告書. 36-53
- 亀崎直樹・宇井晋介(1984)八重山列島における造礁サンゴ類の白化現象. 海中公園情報, 61:10-13
- 亀崎直樹・野村恵一・宇井晋介(1987)石西礁湖海域のイシサンゴ類及びオニヒトデの動態(1983-86年). 海中公園情報, 74:12-17
- 環境庁自然保護局・海中公園センター(1994)第4回自然環境保全基礎調査浅海生物環境調査報告書. 第3巻サンゴ礁. 262pp
- 環境庁自然保護局・国立公園協会(1981)浅海における海中景観の保全と活用の推進に関する報告書(西表国立公園石西礁湖の保全と活用). 161pp
- 環境省自然環境局(2005)石西礁湖自然再生調査報告書. 29pp
- 森美枝(1995)石西礁湖におけるイシサンゴ類とオニヒトデの推移. 海中公園情報, 107:10-15
- 中野義勝(2002)造礁サンゴの環境負荷への生理生態的反応に関わる研究の概観. 日本におけるサンゴ礁研究 I (日本サンゴ礁学会). 43-49
- 西平守孝・JEN Veron(1995)日本の造礁サンゴ類. 海游舎. 29-30
- Nishikawa A, Katoh M, Sakai K (2003) Larval settlement rates and gene flow of broadcast-spawning (*Acropora tenuis*) and planula-brooding (*Stylophora pistillata*) corals (Scleractinia). *Mar Ecol Prog Ser* 256:87-97
- 沖縄県環境保健部(1991)赤土流出防止対策の手引き. 1pp
- 沖縄県農林水産部(1996)八重山の農漁業基盤整備 島々美しや世界報村づくり. 八重山農林土木事務所. 宮良川土地改良事務所(編). 295 pp
- Veron JEN (1992) Hermatypic corals of Japan. *Aust Inst Mar Sci Monogr Series* 9, 234 pp

- 山口正士 (1986) サンゴ礁学入門 4. サンゴ礁のカイメン類 1 -サンゴの敵としてのカイメン類-. 海洋と生物, 43:88-92
- 山城秀之 (2004) イシサンゴの病気についての現状. 日本のサンゴ礁. 58-61
- 横地洋之 (2004) サンゴ食害生物. 日本のサンゴ礁. 51-57

#### 第4部

---

- 環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター (2002) 体験的に学ぶサンゴ礁<ティーチャーズガイド>サンゴ礁保全のための教育プログラム
- 国土交通省港湾局 (2003) 海の自然再生ハンドブッカーその計画・技術・実践-(全4巻). 海の自然再生ワーキング・グループ (著). (株) ぎょうせい
- 内閣府沖縄総合事務局 (2003) 平成15年沖縄における自然環境に配慮した漁港施設整備のあり方調査報告書. (財) 漁港漁場漁村技術研究所 (編)
- 中谷誠治 (2004) 自然環境保全における住民参加-熱帯沿岸における海洋保護区を例に-. 独立行政法人国際協力機構援助研究報告書
- 岡本峰雄・野島哲 (2003) 有性生殖を利用したサンゴ礁修復法開発の試み. 大森信 (編) サンゴ礁修復に関する技術手法-現状と展望-. 環境省自然環境局. 46-56
- 内閣府沖縄総合事務局 (1999) サンゴ礁と共生する港湾整備マニュアル案. (財) 港湾空間高度化センター(編)

#### 資料2

---

- 環境省自然環境局 (2002) 八重山のサンゴ礁
- 

#### 参考文献

- 環境省 (2003) サンゴ礁修復に関する技術手法
- 環境省・日本サンゴ礁学会 (2004) 日本のサンゴ礁
- 石垣市 (1991) 石垣市水産振興基本計画
- 内閣府沖縄総合事務局農林水産部 (1972~2003) 沖縄県農林水産統計年報
- (財) 沖縄観光コンベンションビューロー (2000) オニヒトデの異常発生及びサンゴ食害状況等調査報告書